

避難所運営訓練(ハグゲーム)を実施

な協域で、毎年夏を過ごす所19所を、今年は24所と小須戸中学校体育館で中学生246名と小須戸手コム協会・秋葉区社会・山のボランティアの学生・地域ボランティアなどの参加で、避難所運営訓練(ハグゲーム)を行いました。生徒がこのように、毎年夏を通して避難所を開設した場合、どのように避難するか、ゲームとして考えて実際に行なわれます。ところが、毎年もこの訓練が実際には中学生の生徒に起きたことがあります。この訓練は昨年もこの地域で実施されます。



世帯人口統計 平成30年6月末日現在

	男	女	合計	世帯数
小須戸地区	2,566 (-12)	2,805 (-12)	5,371 (-24)	1,924 (0)
矢代田地区	2,028 (4)	2,155 (2)	4,183 (6)	1,518 (0)
合計	4,594 (-8)	4,960 (-10)	9,554 (-18)	3,442 (0)



小須戸コミ協では、平成25年度に小須戸地域内の全世帯を対象として1世帯に1つ「緊急情報キット」の配布事業を行いました。しかし、すでに5年が経過しましたので、8月1日にチラシと情報用紙を全戸配布しました。緊急キットを持っているご家庭は、お申込み用紙に記入して班長・町内会長・自治会長へお配布しますので申し込んでください。金を添えて申し込んでください。尚、75歳以上の一人暮らし世帯は無料となります。この機会に緊急情報キットの活用をお願いします。申し込み締め切りは8月20日。

「緊急情報キット」
活用してください

水と土の芸術祭 Water and Land Niigata Art Festival 2018

7月15日から「水と土の芸術祭2018」がはじまり、小須戸地域では「水と油の芸術祭(仮)」「小須戸ARTプロジェクト」「KOSUDO TEXTILE WINDOWS 2018」の3つのプロジェクトによる多数の作品を見る事ができます。詳しくは8月1日に配布した小須戸市民プロジェクトのパンフレットをご覧下さい。

町屋ギャラリー薩摩屋（小須戸本町2）
小須戸の看板娘（飯沢康輔）

町屋ラボ（小須戸新町1）南条嘉毅



旧荒木呉服店・栄森酒店（小須戸新町1）イラストカーテン（ワタナベマイ）



花植え作業にご協力
ありがとうございました

6月5日 コミ協の地域美化活動の一環として、まちづくりセンター周辺の花壇の整備をしました。センター利用団体や地域の方々、出張所と公民館職員のみなさんなど多くの方の参加で作業を行うことができました。小須戸保育園の園児もプランターでの花植えに参加し、園児たちが植えたプランターは保育園へお届けしました。

地域の茶の間 福祉バス研修



7月11日 地域の茶の間の参加者とボランティア合計28名で新潟市の福祉バスを利用して施設見学に出かけてきました。県警本部交通管制センターと通信指令室を見学後、砂丘館、食育花育センターを見学。県警の通信指令室では110番通報が入る様子などを見ることができ、新潟県内の110番が全てここに入るなどの説明を聞き、普段見ることのない施設見学ができた有意義な一日でした。

健康・自立セミナー



6月16日 新潟薬科大学薬学部の学生による「健康・自立セミナー」が行われました。今回のテーマは「くも膜下出血・不整脈」。学生たちのわかりやすい説明に参加者も熱心にメモを取りながら聞いていました。

次回は9月15日(土)
10:00～11:30
「胆のう炎と腸閉塞」です。
申込不要、どなたでもお気軽にご参加ください。

秋葉区地区懇談会



7月20日 秋葉区主催の地区懇談会が開催され、コミ協、自治会長、地域住民など約50名の参加がありました。秋葉区の主要事業についての説明の後、コミ協がとりまとめた小須戸地区の地域課題について熊倉区長はじめ関係各課の課長から説明がありました。詳細は後日コミ協だよりなどであらためてお知らせいたします。

おはよう朝ごはん講習会

7月29日 コミ協と小須戸地区公民館の共催事業「おはよう朝ごはん講習会」を実施し、夏休みの支部行事として親子17名が参加しました。普段家では包丁を使って料理する機会がほとんどない子供たちも野菜を刻み、卵を炒めたりと楽しそうでした。簡単にできる「おにぎら一ず」を中心とした3品が出来上がり、いただきますの後は、食事の栄養バランスについての話を聞きました。「朝ごはんの大切さが良く分かった。簡単なので家でも作りたいです。」という感想が多くありました。



おにぎら一ず
スパニッシュオムレツ
ごぶ茶de野菜スープ